

第4回 教職員のための外国人留学生就職支援研修会

～クロストークセッション～

トピック③「文系留学生に対するキャリア教育・キャリア支援について」

2021/07/10 (土)

●トピック F: ファシリテーター C: 企業 A: 参加者

〈企業の側から〉

●文系理系留学生をどのくらい採用しているか
どちらも。

●それぞれどのような仕事を？

理系：設計

文系：経理・IT系 (SE)

●どんなことが求められる？

理系：どんな研究をしていたか？

文系：日本語を話せるか (理系よりも文系の方が語学力が高い傾向)

大学で学んだこととは関係ないことでも可

●どんなポイントを見ている？

理系：研究があればプラス

→それに対してどのように取り組んできたか？ (取り組む姿勢)

* 文系/理系で見るポイントが違う → 文系就職の難しさ？

〈クロストーク〉

●そもそも文系留学生は何が課題？

>A: (企業側視点から) 日本語は頑張っている。

⇨日本の企業はどういう点を大事にしているか等、文化的な違いの理解・学習が必要

>A: 文系が働ける職種が非常に少ないのでは？

特活46号があれば… →この便利さをもっと活用していく必要があるのでは。

>A: (大学の留学生 (奨学金受給生) 支援の立場から)

日本語力がないと雇ってもらえない。→N1は絶対的に必要なのでは。

就職の無謀さを早めに学生に告知すべき？

>C: 資格はESで判断されがちだが、それだけが全てではない。

>F: 語学力の部分 / 語学力ではない部分 が課題

* (文系留学生がよく挙げる) 語学力だけが強みで良い? **語学力以外の強みをどう引き出す?**

● 語学力以外の部分の実践的な支援について

>A: N1 を持っていて内定をもらうのが難しい現状。「就活力」の不足

外国人留学生と外国人留学生が欲しい企業のマッチングを。

(→学生のプレゼン等)

企業側が文系を多く雇わない

>F: 学校側は何ができる?

>A: まずは好事例を作る。

>F: **接点作りだけでは終わりにせず、好事例をつくる**ところまでがポイント。

>A: 中小企業の場合、今後労働者人口が激減していく不安がある?

「外国人、日本語喋れるの?」という誤解もあり。

N1 は大学四年間を終了すれば取れるのでは?

(→F: 個人差はあるだろうが、チャレンジしていない人はいるかも。)

>F: 企業に留学生のことを知ってもらう、接点作りが必要か。

● 語学以外の強みを大学在学中に作る試み

>F: 過去のエピソードを掘り起こしても出てこない人⇄出てくる人

経験不足の人を作らないように、大学初年時からの教育を。

必修の科目で大学生活や就活について**意識的に伝える**。(×そこにいればわかる)

企業との繋がりを作る